

平成 30 年 10 月 23 日

奈良県教育委員会
教育長 吉田 育弘 様

奈良県立平城高等学校
P T A 会長 平井 信明

今後の平城高等学校に関する要望書

本年 7 月の県議会で県立高等学校適正化実施計画案が可決されたことを受け、7 月 10 日付で教育長から本校生徒・保護者に宛ててメッセージを発出いただきました。それに対して、本会会員である平城高校保護者に返信を求めたところ、今後の平城高校の教育について多くの意見・要望があり、以下のようにまとめるに至りました。

つきましては、以下の諸点についてご検討をいただきますよう、要望します。

1. 説明会の開催について

平成 30 年 6 月 8 日に発表された「県立高校適正化案」については、当該校関係者に対して、前もっての説明が一切なく、生徒や先生、保護者、地域の方々、広くは県民の意見等を十分に聞き入れることもなく、計画が拙速に進められてしまったことに大きな憤りを感じています。

奈良県教育委員会並びに吉田教育長には、今回の決定に至る経緯についての「丁寧な説明」を行う機会を設けていただくことを強く要望いたします。これは教育行政の責任者としての責務であり、県立高等学校を利用する受益者としての権利でもあると考えます。

2. 改修工事について

平城高校校舎を利用する次の高校のための改修工事については、平城高校生が在学中は一切行わないよう要望します。最後の平城高校生が卒業するまで、通り慣れた親しみのある校舎で今まで同様に静かに落ち着いて学ぶことができ、改修工事、騒音及び工事に向けた準備作業等による利用制限を受けることがないように十分留意ください。

また、平城高校のアイデンティティに関するものについては、在校生の心の拠り所でもあるので、最後の卒業生を送り出すまでは撤去や移動など手を付けることのないように要望します。

3. 学習・進路指導について

募集停止に伴い今後生徒数が年々減少することになりますが、在校生が最後まで充実した学校生活を送ることができるように、学習・進路に関する指導を十分に受けられる、教員の確保と予算の確保を要望します。同時に文化祭、体育大会などの学校行事も従来同様に開催できるように配慮ください。

また、卒業した生徒の受験や進路サポートについても、今までと同様に平城高校校舎にて対応できるよう、環境を整えていただくことを要望します。

4. 部活動について

来年度の入学生徒が引退するまで満足のいく部活動を続けられるように、練習環境や試合・コンクール等へ出場するための環境を整えてください。また、十分な指導ができる顧問の先生の配置について、格段の配慮をしてください。

また、県下唯一の水球部については、奈良県の水球部の歴史が途切れることのないように、次の学校にも引き継いでください。

5. 生徒へのケアについて

卒業生はもちろん、在校生に対しても「母校」が無くなることについての教育委員会として最善のケアをお願いします。高校にとって「生徒が主体」であることを念頭に「行政による不都合」が生徒に降りかからないように配慮を要望します。

6. 中学生のサポートについて

来年度、平城高校を志望する中学生やその保護者に対し、受験案内や募集要項等には細心の注意を払っていただき、安心して受験ができるように最大限の配慮をしてください。

また、募集人数については、これまでの平城高校の教育を最後まで維持するためにも、今年度と同様に360名を強く要望します。

7. 近鉄電車から見える校舎について

通学や通勤で近鉄電車を利用する卒業生にとって、線路側から見える校舎壁面に他の高校の名称がつけられ、毎日それを目にすることは、日々つらい思いをすることにつながる可能性があります。そのような設備等は設置しないことを要望します。

8. 平城高校の歴史の保全について

平城高校の校舎や設備、校庭の樹木等は、開校以来生徒たちとともに学校生活を支えてきた大切な思い出であるので、安易に処分したり破壊したりすることのないように要望します。

また、平城高校の歴史を記録した記念誌等を作成し、卒業生に配布してください。

校内に、平城高校の歴史や伝統を保全するための「平城高校の同窓会館」またはそれに準じる場所を設置してください。

9. 母校での教育実習について

将来高校教員となることを希望し、卒業校で教育実習をしたいと考えている生徒が一定数いると思われまます。閉校してしまうと母校での教育実習は叶わず、そのことが生徒の進路選択に影響を及ぼす可能性があります。教員志望の生徒が教育実習を確実に受けられるように、受け入れ態勢や申し込み手続きの方法などについての具体的な対応を、できるだけ早く決定し、周知してください。

10. 平城高校と地域との活動について

平城高校は、長年にわたり「セーフティスクール平城」「平城あいさつ運動」「クリーンアップ平城」など、地域活動の輪を広げるために、多様な、地域との協働活動を続けてきました。今後も、近隣の小学校・中学校との連携を含めた、地域との協働活動を継続してください。

また、家庭内でできる社会奉仕を考えるきっかけになればと考えPTAが続けてきた「愛のぞうきん運動」についても継続し、近隣施設とのつながりを絶やさないことを要望します。

11. 高校再編について

今後の高校再編にあたっては、学校・保護者・教育委員会による協議の場を定期的に設けて、対象校となる生徒たちに不利益が被らないように、時間をかけて説明し、状況を正しく見極め、意見を出し合いながら解決策を考えていくようにしてください。決して一部の人の考えや都合を強制的に押し付けるような方法をとることがないように強く要望します。

今回、平城高校関係者が感じた屈辱感や落胆、悲しみ等を、二度と味わうことのないように、万全の配慮をお願いします。